

淡江大學 103 學年度第 2 學期課程教學計畫表

課程名稱	日語會話 (三)	授課 教師	黑島千代 KUROSHIMA CHIYO
	JAPANESE CONVERSATION (III)		
開課系級	日文三 G	開課 資料	必修 下學期 2 學分
	TFJXB3G		
系 ( 所 ) 教育目標			
<p>本系之教育目標在於培育具備以下能力之日語人才：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日語聽、說、讀、寫、譯五項技能。</li> <li>2. 接軌國際之能力。</li> <li>3. 掌握資訊之能力。</li> <li>4. 迎向未來之能力。</li> </ol>			
系 ( 所 ) 核心能力			
<ol style="list-style-type: none"> <li>A. 具備日語聽講的基礎能力。</li> <li>B. 具備日語口語表達、中日口譯的基礎能力。</li> <li>C. 具備閱讀日語書報雜誌的基礎能力。</li> <li>D. 具備日文作文、日文書信及中日筆譯的基礎能力。</li> <li>E. 訓練學生賞析日本文學、名著的基礎能力。</li> <li>F. 理解日本語學、日語教育之基礎理論及研究方法。</li> <li>G. 培育日本歷史、文化、社會的基礎素養。</li> <li>H. 訓練思考判斷的能力。</li> </ol>			
課程簡介	本課程在訓練學生做好以日文報告各類主題之準備。鼓勵學生在課堂中以日文談論各類的社會和個人相關主題。		
	This course trains students to be more ready speakers in Japanese on various topics. Students are strongly encouraged to discuss various social and personal topics in Japanese.		

本課程教學目標與目標層級、系(所)核心能力相關性

一、目標層級(選填)：

- (一)「認知」(Cognitive 簡稱C)領域：C1 記憶、C2 瞭解、C3 應用、C4 分析、C5 評鑑、C6 創造
- (二)「技能」(Psychomotor 簡稱P)領域：P1 模仿、P2 機械反應、P3 獨立操作、P4 聯結操作、P5 自動化、P6 創作
- (三)「情意」(Affective 簡稱A)領域：A1 接受、A2 反應、A3 重視、A4 組織、A5 內化、A6 實踐

二、教學目標與「目標層級」、「系(所)核心能力」之相關性：

- (一)請先將課程教學目標分別對應前述之「認知」、「技能」與「情意」的各目標層級，惟單項教學目標僅能對應C、P、A其中一項。
- (二)若對應「目標層級」有1~6之多項時，僅填列最高層級即可(例如：認知「目標層級」對應為C3、C5、C6項時，只需填列C6即可，技能與情意目標層級亦同)。
- (三)再依據所訂各項教學目標分別對應其「系(所)核心能力」。單項教學目標若對應「系(所)核心能力」有多項時，則可填列多項「系(所)核心能力」。(例如：「系(所)核心能力」可對應A、AD、BEF時，則均填列。)

序號	教學目標(中文)	教學目標(英文)	相關性	
			目標層級	系(所)核心能力
1	本課程目的在於強化學生在現代日語上之「聽」及「說」的能力及溝通能力。	This course aims at strengthening students' competence of listening and speaking of modern Japanese.	C3	ABCGH

教學目標之教學方法與評量方法

序號	教學目標	教學方法	評量方法
1	本課程目的在於強化學生在現代日語上之「聽」及「說」的能力及溝通能力。	講述、討論、問題解決	報告、上課表現

本課程之設計與教學已融入本校校級基本素養

淡江大學校級基本素養	內涵說明
◇ 全球視野	培養認識國際社會變遷的能力，以更寬廣的視野了解全球化的發展。
◇ 資訊運用	熟悉資訊科技的發展與使用，並能收集、分析和妥適運用資訊。
◇ 洞悉未來	瞭解自我發展、社會脈動和科技發展，以期具備建構未來願景的能力。
◇ 品德倫理	了解為人處事之道，實踐同理心和關懷萬物，反省道德原則的建構並解決道德爭議的難題。
◇ 獨立思考	鼓勵主動觀察和發掘問題，並培養邏輯推理與批判的思考能力。
◇ 樂活健康	注重身心靈和環境的和諧，建立正向健康的生活型態。
◇ 團隊合作	體察人我差異和增進溝通方法，培養資源整合與互相合作共同學習解決問題的能力。
◇ 美學涵養	培養對美的事物之易感性，提升美學鑑賞、表達及創作能力。

授課進度表

週次	日期起訖	內容 (Subject/Topics)	備註
1	104/02/24~ 104/03/01	他の人に何かを依頼 (お願い) する / 場面別練習と言葉の使い分け	
2	104/03/02~ 104/03/08	承諾・許可・断る / 内容別練習と日本語表現の違い	
3	104/03/09~ 104/03/15	電話の会話 (1) 挨拶・取次ぎ・伝言	
4	104/03/16~ 104/03/22	電話の会話 (2) 問い合わせをする・回答する。	
5	104/03/23~ 104/03/29	同じテーマで賛成と反対という異なる立場に分かれて考える	
6	104/03/30~ 104/04/05	強い賛成 / 反対を示す表現及び消極的な賛成と反対の言い回し。	
7	104/04/06~ 104/04/12	2 ~ 4 人のグループ別にテーマを選びディスカッションをする。	
8	104/04/13~ 104/04/19	グループ別に発表する。その他の学生は自由に質問したり意見を言う。	
9	104/04/20~ 104/04/26	課題別のテスト (口試)	
10	104/04/27~ 104/05/03	期中考試週	
11	104/05/04~ 104/05/10	インタビューについて / 目的別インタビューの種類を理解する。	
12	104/05/11~ 104/05/17	2種類のタイプのインタビューについて、各自興味があるものを選んで、インタビューの流れを考える。	

13	104/05/18~ 104/05/24	インタビューの依頼を電話でする。 / 目的を確認して承諾する。	
14	104/05/25~ 104/05/31	教室でロールプレイをする。 (1)	
15	104/06/01~ 104/06/07	教室でロールプレイをする。 (2)	
16	104/06/08~ 104/06/14	期末試験のためのインタビューについて、自分の計画と期待していることや不安なことを発表する。	
17	104/06/15~ 104/06/21	実際のインタビューをして、学んだことや共感したことなど、或いは自分との相違点について発表する。	
18	104/06/22~ 104/06/28	期末考試週	
修課應 注意事項	毎回出席をして、授業で積極的に発言をしてください。日本語で自分の考えを述べる力を養うためには毎回の発表を積み重ねていく必要があります。欠席や遅刻をしないで頑張ってください。		
教學設備	電腦		
教材課本	新聞記事、NHK番組(社会的主题)、教師作成のプリント教材		
參考書籍	指定書籍はありませんが、授業中とりあげた主题に関係のあるインターネットや新聞などを調べる必要があります。		
批改作業 篇數	篇(本欄位僅適用於所授課程需批改作業之課程教師填寫)		
學期成績 計算方式	◆出席率: 10.0 %   ◆平時評量: 30.0 %   ◆期中評量: 30.0 % ◆期末評量: 30.0 % ◆其他〈 〉:       %		
備考	「教學計畫表管理系統」網址: <a href="http://info.ais.tku.edu.tw/csp">http://info.ais.tku.edu.tw/csp</a> 或由教務處首頁〈網址: <a href="http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php">http://www.acad.tku.edu.tw/CS/main.php</a> 〉業務連結「教師教學計畫表上傳下載」進入。 <b>※不法影印是違法的行為。請使用正版教科書，勿不法影印他人著作，以免觸法。</b>		